

令和4年度 百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	数学・数学B	学年	第3学年	教科書	数研出版 改訂版 高等学校 数学B
		単位数	2単位	副教材	数研出版 改訂版 4プロセス 数学II+B

学習目標
 数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習方法
 ○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。
 ○ 授業においては数学専用の演習ノートを利用します。
 ○ 家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	平面上のベクトル、空間のベクトル、数列などにおける考え方に興味をもち、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に意欲的に活用している。
b	数学的な見方や考え方	平面上のベクトル、空間のベクトル、数列などにおける数学的な考え方を身に付け、事象を数学的に考察し、過程を振り返り多面的・発展的に考えている。
c	数学的な技能	平面上のベクトル、空間のベクトル、数列などにおいて、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d	知識・理解	平面上のベクトル、空間のベクトル、数列などにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	平面的ベクトル	11	ベクトルとその演算	ベクトル	○	○		○	a:ベクトルの演算などを通じて、ベクトルの成分や内積など、ベクトルの概念を理解しようとしている。 b:ベクトルにおける演算や定義を理解し、それらの意味を考察することができる。 c:ベクトルについての様々な演算ができる。 d:有効線分やスカラーと区別ができ、ベクトルが向きと大きさをもつことやその演算方法を理解している。	授業への取組 定期試験 小テスト 課題 提出物
				ベクトルの演算		○	○	○		
				ベクトルの成分		○	○	○		
				ベクトルの内積		○	○	○		
	11	ベクトルと平面図形	位置ベクトル	○	○		○			
			ベクトルの図形への応用		○	○	○			
後期	空間のベクトル	6	空間のベクトル	空間の点	○			○		
				空間のベクトル	○			○		
		9		ベクトルの成分	○		○	○		
				ベクトルの内積	○	○	○	○		
				ベクトルの図形への応用		○	○	○		
				座標空間における図形		○	○	○		
数列	11	等差数列と等比数列	数列と一般項				○			
			等差数列	○	○	○	○			
			等差数列の和	○		○	○			
			等比数列	○	○	○	○			
			等比数列の和	○		○	○			
	9	いろいろな数列	和と記号Σ	○	○	○	○			
			階差数列		○	○	○			
			いろいろな数列の和	○	○	○	○			
	7	数学的帰納法	漸化式	○	○	○	○			
			数学的な帰納法	○	○	○	○			
合計時数(55分授業)		64								